# 特集 高山市の財政のすがた

## 貸借対照表

### 決算時の資産や負債状況がわかります

学校や道路など市が所有している施設や、現金、債権などが年度末でどのくらいあるのか、また、そのために使われた財源を示したもので、どのように資金が調達され、また、その資金をどのように活用しているのかが分かるようになっています。

借方・貸方が同額でバランスがとれていることから、バランスシートともいわれます。

### 貸借対照表 総資産1,000万円の家庭の家計に例えると…

**借方【資産の部】**

●有形固定資産……854万円
家、土地、車、テレビ、洗濯機、冷蔵庫など

●投資的資産……80万円
養老保険、住宅積立預金など

●流動的資産……66万円
現金、普通貯金など

資産合計1,000万円

**貸方【負債の部】**

●負債…301万円
住宅ローン、自動車ローンなどの元金

●純資産合計……699万円
今まで資産形成に使った返済の必要がないお金

負債・純資産合計 1,000万円

●有形固定資産
これまでに学校、道路などの建設事業に使われたお金の総額です。道路や建物などの建設費は、価値を見直す減価償却をしています。また、土地代は購入時点の価格で計上しています。

●投資的資産
関係団体への出資金やまちづくり基金や緑の基金などに蓄えているお金です。

●流動的資産
現在持っている現金などのほか、必要時にすぐに現金化することができる基金、市税など市に納めてもらうお金のうちで、まだ収入されていないものも含まれます。

●平成20年度

### 高山市の普通会計

**借方（資産の部）**

| | |
|---|---|
| **有形固定資産** | |
| 学校、道路、橋、市庁舎など | 1,923億2千万円 |
| **売却可能資産** | 5億9千万円 |
| **投資的資産** | |
| 基金（固定的なもの） | 163億4千万円 |
| 出資金など | 17億7千万円 |
| **投資的資産計** | 181億1千万円 |
| **流動的資産** | |
| 現金預金 | 32億7千万円 |
| 基金（現金化が容易なもの） | 113億1千万円 |
| 未収金（税など） | 3億1千万円 |
| **流動的資産計** | 148億9千万円 |
| **計** | 2,259億1千万円 |

### 市民1人あたりの

**借方**

| | |
|---|---|
| 有形固定資産<br>売却可能資産 | 204.7万円 |
| 投資的資産 | 19.2万円 |
| 流動的資産 | 15.8万円 |
| 資産合計 | 239.7万円 |

## 借金は貯蓄の約2倍

**貸借対照表を読む**

「貸方」は、資金の調達方法であり、市がこれまでどうやってお金を集めてきたかを表します。一方、「借方」は、資金の使用実績であり、資金が何に使われ、どれだけの資産が残されているかがわかります。

資産の2259億円のうち1929億円がこれまでの行政活動によって形成された資産となります。

これに対する財源として、市債が550億円、国・県補助金が362億円、残りが市税などの一般財源となります。また、貯蓄に相当する基金の合計が277億円ありますが、それに対する借入現在高は550億円で、貯蓄に対して借金が約2倍になることがわかります。しかし、借金の額は19年度と比較するとこの1年で45億円減っています。



2009.12.1